



5月は前期人権教育月間です

5月10日校長講話があり、「いじめ」について話されました。そして長谷川集平さんの絵本「はせがわくん きらいや」を読んでいただきました。

今日は、いじめに関するお話しをします。青木中学校が、「誰もが認められ、誰にとっても居場所のある、安心できる学校」であってほしいと思っています。そのために、先生たちも一生懸命、力を尽くしています。今日は、皆さんに「いじめの罪深さ」を、単なる言葉としてだけでなく、心から感じとってほしいと思い、お話しをします。

「いじめは脳を傷つける。だから、いじめは犯罪行為、傷害罪なんです。」

これは、10数年前の東北大学名誉教授の松沢大樹先生の言葉です。松沢先生は、実際に、大勢の人の脳を見てきた脳科学の先生です。松沢先生は「深刻ないじめによって、脳の扁桃核(へんとうかく)という部分に傷が生じる」と言っています。傷というのは、例えではなく、本当の傷のことです。深刻ないじめによって、受けた脳の傷です。深刻ないじめが原因で心の不調を訴えて松沢先生のところにきた子どもたちには、すべて、こうした傷がついていたそうです。その人数は3年間で100人以上にもなったそうです。「深刻ないじめは脳を傷つける」ということの「恐ろしさ」を考えてみたいと思います。

脳は、気持ちや感情、身体の調子をコントロールする働きをもっています。それが傷つけられると人はどうなるのか、松沢先生は、「扁桃核が傷つけられると、心や身体のあらゆることに影響を与える」と言っています。

例えば、「頭痛がしたり、おなかが痛くなったりする。」「夜、何度も目が覚めて、よく眠れなくなる。」「食欲がなくなり、ものを食べられなくなる。」「学校に行くことができなくなる。人に会うことができなくなる。」「常に気持ちが沈んだままで、何もできなくなる。」「生きることが嫌になる。」

こんなふうに、心も身体も正常な状態ではなくなるということです。さらにこのことの恐ろしさは、どんな人でも、深刻ないじめを受けると、脳が傷つけられるということです。“どんな人でも”です。心が強い人は大丈夫とか、そういうことではありません。ナイフで刺されれば、どんな人でも身体に傷を負うのと同じです。

「はせがわくんきらいや」という絵本があります。これは実話に基づいて、長谷川集平さんという方が書いたお話です。実は、私はつい最近、この絵本に出会いました。松沢先生のいじめは脳を傷つけるという話から、私はこの「はせがわくんきらいや」に出てくる男の子と、松沢先生の話結びつけて考えました。朗読します。聞いて下さい。……………

私たちは、いじめは人の心を傷つけるとよく言います。そのとおりです。そして、そのことの本当の意味は、「いじめは、人の脳を傷つけ、楽しい学校生活を奪い、夢を奪い、希望を奪い、人生を奪い、命まで奪ってしまう。」という事です。

幸いなことに、松沢先生は、深刻ないじめによってうけた脳の傷は、適切な治療によって治ると言っています。この言葉には救われます。私は、いじめがあった後に、どのように過ごしたかによっても変わるとも思っています

最後に、皆さんにもう一つ、考えてほしいことがあります。最初にお話したとおり、今日のお話は実話をもとにしたお話です。現実にあった出来事です。実は、長谷川君は、その後高校、大学へと進み、絵本作家そしてミュージシャンになっています。

「はせがわくん」がいたクラスの中でも、いじめがあったことは簡単に想像がつかます。でも、「はせがわくん」のことを、だれ一人助けてくれない、かばってくれない、声もかけてくれない、という状態だったらどうなっていたでしょう。学校生活を奪い、夢を奪い、希望を奪い、人生を奪い、命まで奪ってしまったとしたら、加害者は、いじめをしていた人だけではありません。もしも…と考えてしまいます。「はせがわくん」が、救われたのは紙一重だったかもしれません。「はせがわくん」を救ったのはいったい何だったのでしょうか？私は、この話の「ぼく」の存在が、ものすごく大きいと思います。

仲間とともに、「はせがわくん」を救うには、どうすればよいのか？ 自分だったらどうするか？

皆さん一人一人、考えてみてください。

校長講話からはじまった前期人権教育月間は終わります。各学年ではこの1ヶ月人権学習(自分の生き方を考える大切な学習)を大切にしてきました。少し紹介します。

1年生「魚の涙」の授業の感想より「いじめのない社会が作れるかどうかは自分じゃ分からないけど、いじめられている人たちを救えるような社会にしたい。」「自分の視点を少し大きくしてみるだけで人は変わる気がします。一人で抱え込まずに人に相談することも相談にのることも大切だと思った。」

2年生「LGBTQ～小泉涼さんの講演から『みんなが生きやすい世の中』を考える」授業の感想より「セクシャルマイノリティーの方の嫌なことの問題やその解決法を考えて、またさらに深く知ることができた。」「周りの人と協力すれば、この世の中は住みやすい場所になると思った。」「解決方法を見つけていく中で、変えられそうな問題はたくさんあるんだなって思った。」

3年生「外国人の方々とともに気持ちよく生きていくために」の授業の感想より「外国人だからって理由で決めつけたりするのはよくないから、私はそういうことをしないようにしたいと思いました。やっぱり外国人って話したことがないと怖いとかっていうイメージがあったりするから、ヘイトスピーチとかが起きてしまうのかなと思いました。」「何か問題が起きたときにしっかり話を聞いてから、一緒に解決したり、お互いの文化を理解し合うことが大切。」



普段の生活の中でも人権について大切にしながらいろいろな考え方に会い、自分たちの生きていく社会について考えていく機会を大切にしたいと思っています。

←人権学習で仲間と話をする生徒達

☆5月22日(月)には3年ぶりに鑑賞音楽会が行われました。☆



感想より「ゴスペルを生演奏で聴いたのは初めてだったので、すごい良い機会だったとしても迫力がありました。『一人じゃないよ!』とか背中を押してくれるような強いメッセージもあって、歌声とともに心へ響きました。とても楽しい時間を過ごすことができました。」「すごく良い時間になりました。」



生徒総会で生徒会スローガン決定

「一期一笑」

5月9日(火)に生徒総会がありました。今年度の生徒会スローガンは『一期一笑』に決まりました。一期一会の意味は一生に一度限りの出会いという意味です。最後の「会」という字を「笑」という字に変えてみました。理由は、このメンバーで過ごす時間は一生に一度だけなので、心から笑って学校生活を送ってほしいからです。

どの学年も小学校からクラスのメンバーがあまり変わりません。だからこそ、1つのクラスで過ごす1年間を大切にしてほしいと思います。

今年度から全クラスが1クラスになるので、学年の壁を超え、全校が1つにまとまるのが大切だと思います。一期一笑の「一」という漢字には、このような色々な思いがこめられています。みんなにとって楽しい生徒会活動にしたい。そんな願いの達成のために、話し合いの時間も設けました。みんなで考えて、みんなでやってみて、みんなで学び、楽しむ。そんな活動ができるとういのです。

◆◆◆6月の予定◆◆◆

- 7日(水) 短鍛タイム
- 9日(金) 東信大会壮行会
- 13日(火) 学校集金振替日
- 20日(火) 1年予備登山
- 21日(水) 漢字道場 プール開き
- 22日(木) フッ化物塗布
- 26日(月) 計画休業
- 30日(金) 1学期期末テスト



アイリスセミナー

第1回 6/2(金) 第2回 6/16(金)

東信大会日程

女バス(6/10～) 剣道(6/24)
女バレ(6/17～) 男バレ(6/24～)